

# 維持管理情報

青森工場

1/2

施設の操業状況に関する情報		2021年												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
燃焼室中の燃焼ガス温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ト)	(1) 測定位置	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	
	(2) 測定結果を得た年月日	4月15日	-	6月15日	-	8月15日	9月30日	10月15日	-	12月15日	1月31日	2月15日	3月31日	
	(3) 測定結果(°C)	820	-	820	-	800	810	830	-	800	820	820	800	
集塵器に流入する燃焼ガス温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 リ)	(1) 測定位置	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	
	(2) 測定結果を得た年月日	4月15日	-	6月15日	-	8月15日	9月30日	10月15日	-	12月15日	1月31日	2月15日	3月31日	
	(3) 測定結果(°C)	104	-	105	-	114	113	105	-	106	100	100	90	
煙突から排出されるCO濃度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ヲ)	(1) 測定位置	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	
	(2) 測定結果を得た年月日	4月15日	-	6月15日	-	8月15日	9月30日	10月15日	-	12月15日	1月31日	2月15日	3月31日	
	(3) 測定結果(%)	0.02	-	0.02	-	0.01	0.02	0.01	-	0.02	0.02	0.02	0.03	
焼成炉中の温度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ツ)	(1) 測定位置	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
	(2) 測定結果を得た年月日	4月15日	-	6月15日	-	8月15日	9月30日	10月15日	-	12月15日	1月31日	2月15日	3月31日	
	(3) 測定結果(°C)	1460	-	1420	-	1430	1470	1460	-	1440	1550	1360	1530	
排ガス処理設備に堆積したばいじんを除去した年月日 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び第12条の7の2 ス)		連続払出し	-	連続払出し	-	連続払出し	連続払出し	連続払出し	-	連続払出し	連続払出し	連続払出し	連続払出し	
ダイオキシン類濃度 (廃掃法施行規則第4条の5の2及び 第12条の7の2 ル) 廃掃法規定 0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥	-	⑥	-	-	-	⑥	-	-	-	-	⑥	
	(2) 排ガスの採取年月日	4月1日	-	6月21日	-	-	-	10月18日	-	-	-	-	3月30日	
	(3) 測定結果を得た年月日	5月7日	-	7月30日	-	-	-	12月16日	-	-	-	-	5月19日	
	(4) 測定結果(ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	0.015	-	0.015	-	-	-	0.000010	-	-	-	-	0.088	
ばい煙 (廃掃法施行規則 第4条の5の2及び 第12条の7の2 カ)	硫酸化物	(1) 排ガスの採取位置	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	-	⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月1日	-	6月21日	-	8月18日	-	10月18日	-	12月9日	-	-	3月30日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月7日	-	7月30日	-	9月22日	-	12月16日	-	1月20日	-	-	5月19日
		(4) 測定結果(ppm)	0.25未満	-	0.26未満	-	0.26未満	-	0.25未満	-	0.12	-	-	0.040
	ばいじん 大防法規定 100mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	-	⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月1日	-	6月21日	-	8月18日	-	10月18日	-	12月9日	-	-	3月30日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月7日	-	7月30日	-	9月22日	-	12月16日	-	1月20日	-	-	5月19日
		(4) 測定結果(mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	23	-	7.5	-	6.2	-	5.0	-	2未満	-	-	2未満
	塩化水素 大防法規定 (廃棄物焼却炉) 700mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> 以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥	-	⑥	-	-	-	⑥	-	-	-	-	⑥
		(2) 排ガスの採取年月日	4月1日	-	6月21日	-	-	-	10月18日	-	-	-	-	3月30日
		(3) 測定結果を得た年月日	5月7日	-	7月30日	-	-	-	12月16日	-	-	-	-	5月19日
		(4) 測定結果(mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	0.72未満	-	1.3	-	-	-	0.75未満	-	-	-	-	1未満
窒素酸化物 大防法規定 250ppm以下	(1) 排ガスの採取位置	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	⑥	-	-	⑥	
	(2) 排ガスの採取年月日	4月1日	-	6月21日	-	8月18日	-	10月18日	-	12月9日	-	-	3月30日	
	(3) 測定結果を得た年月日	5月7日	-	7月30日	-	9月22日	-	12月16日	-	1月20日	-	-	5月19日	
	(4) 測定結果(ppm)	160	-	170	-	170	-	160	-	116	-	-	160	

## 補足(セメントの製造工程の例と測定位置に関する説明)

2/2

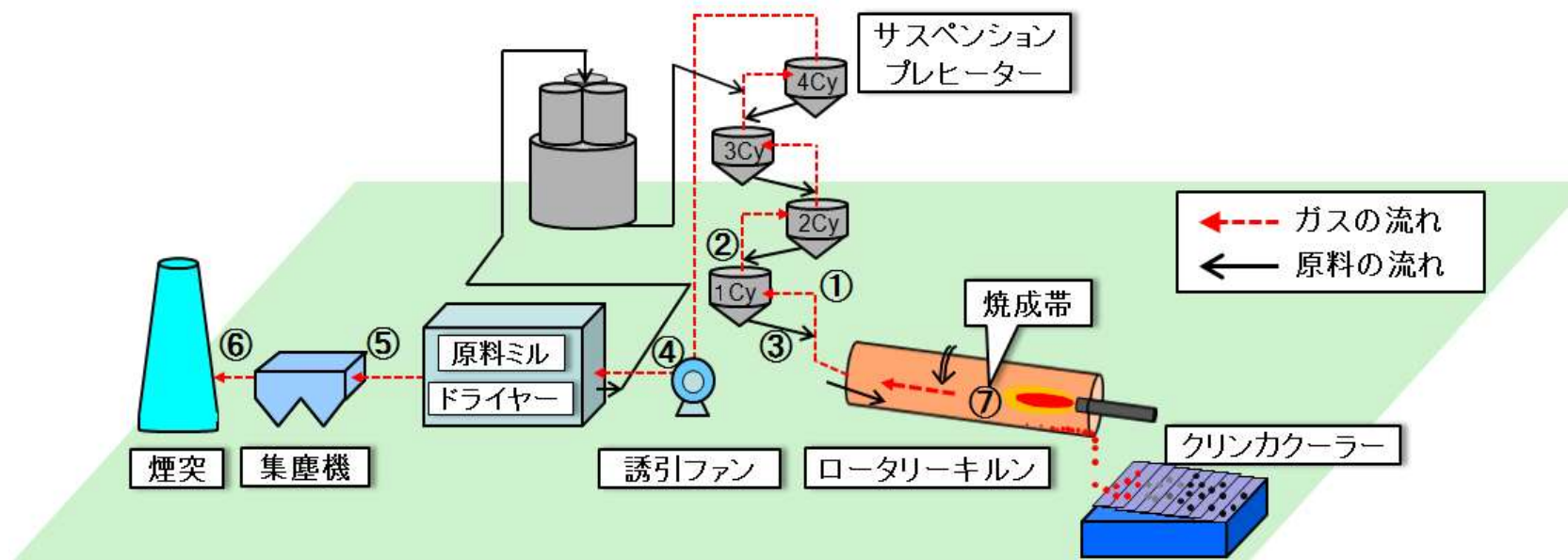


図 セメント製造工程の概略図

- 1) 燃焼室(ロータリーキルン)中の燃焼ガス温度は①, ②または③の温度のうちの一つとしている。
- 2) 集塵機に流入するガス温度は⑤の温度を云う。
- 3) 一酸化炭素(CO)濃度は, ④または⑤または⑥のCO濃度のうちの一つとしている<sup>※1</sup>。なお, ④または⑤のCO濃度は煙突出口のCO濃度とほぼ同程度と推定される。
- 4) 焼成炉中の温度は⑦の温度を云う<sup>※2</sup>。
- 5) ばい煙やダイオキシン類を測定している場所は⑥である。

※1 セメント製造の用に供する焼成炉は, 煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の発生抑制のための燃焼に係る維持管理の指標として一酸化炭素(CO)の濃度を用いることが適当でない特定の種類の焼却施設として環境大臣により定められている(環廃対441・環廃産460)。この代わりに, 3カ月に1回以上の排ガス中のダイオキシン類濃度の測定・記録が義務付けられている(廃掃法施行規則第4条の5第1項第2号ル)。

※2 炉内にはクリンカ粒が多量に浮遊していることから, 温度の実測が困難であり, 実温度よりも100~200℃低い値となる場合がある。しかし, 製品の性状に問題は無く, また, 焼成炉中の温度1000℃以上を確実に立証している。